

香曾我部義則先生の今月のカルテ ⑧

慢性痛とペインクリニック

「痛み」の診断・治療を行う専門診療科、ペインクリニックとはどのような治療を行うのか―梶木病院麻酔科・ペインクリニック科の香曾我部義則先生が分かりやすく説明してくれるこのコラム。第8回のカルテは前号の続き「帯状疱疹(ほうしん)とその②」です。

い神経を一時的に休ませる方法で、鎮痛薬の内服と併せて痛みが軽くなるまで繰り返し行います。

お風呂などで温まると少し和らぐこともしばしば見られます。また、冷えると症状が悪化し、

薬は普段飲む痛み止めではなく、抗うつ薬、抗けいれん薬、局所麻酔薬などが効果を示します。ただ、このような薬は副作用も出やすく、薬の量も個人個人で大きく違ってきますので、症状や程度に依り、患者さん一人ひとりに合った治療法を選択することが大切です。

帯状疱疹が治った後、疹後神経痛に移行する辛い痛みが残るものを見るといわれています。「帯状疱疹後神経痛」また帯状疱疹にかかった治性の痛みが残ります。痛みの残る確率は、50歳以下では10%以下ですが、70歳以上では50%の方が帯状疱疹

帯状疱疹後神経痛は早めの予防が第一 症状の緩和には神経ブロックが効果的

ともいわれています。従って前回述べたように神経痛の予防が何よ

り大切です。特に大事なことは病気の進行を止め、治癒を早める抗ウイルス薬

「神経痛に移行した場合どうしたら良いの

次回「肩こり」についてです。



香曾我部義則先生

プロフィール こうそかべ・よし のり 昭和54年3月 岡山大学医学部卒業後、同大学麻酔科・蘇生科講師、岡山労災病院麻酔科第一部長を経て今年4月1日から現職。日本麻酔学会専門医。日本ペインクリニック学会認定医。現在日本麻酔学会、日本ペインクリニック学会、日本慢性疼痛学会、国際疼痛学会などに所属

「灼(や)けるような

「電気が走るような

「肩こり」とい

「肩こり」とい

「灼(や)けるような

「電気が走るような

「肩こり」とい

「肩こり」とい

☎(2993) 33355 代
日本ペインクリニック
認定施設・梶木病院(西
花尻1231-1)